

地区名	福生市	
研究主題	<p align="center">「主体的に学び、確かな学力を身に付けた児童・生徒の育成」          －見方・考え方を働かせた学びの実践を通して－</p>	
<p>《研究主題の設定》</p> <p>学習指導要領小学校理科の目標においては、</p> <p>(1) 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。</p> <p>(3) 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。</p> <p>の3点を育成したい「資質・能力」としている。これらを受け、理科部では、この「資質・能力」を育成するために見方・考え方をはたらかせて、探究的活動を通して主体的に問題を解決していく態度の育成を目指し、「児童が主体的に問題を解決していく授業づくり」を研究テーマとして取り組むこととした。</p> <p>授業を計画していく中で、まず大事にしていきたいことは、児童が「もっと調べたい」「なぜだろう」と感じる導入を設定することである。その上で理科の見方・考え方を生かした展開を行う。授業の最後や単元末に、次につながる興味関心を引き出すまとめをする。このような一連の流れで学習を計画していく。</p> <p>《取組日程》</p> <p>4月 役員選出、部会研究取組方向設定年間計画作成</p> <p>5月 研究取り組み方向性 検討・決定</p> <p>6月① 研究授業 指導案検討</p> <p>6月② 研究授業 指導案検討</p> <p>6月③ 小中合同研究会 小学校研究授業（6年理科）</p> <p>指導講評 国立市教育委員会 指導主事 小島 彰章 先生</p> <p>授業者 福生第五小学校 主幹教諭 蜂須賀 健太</p> <p>単元名 体のつくりとはたらき 《ひと続きの消化管》（5/11 時間）</p> <p>自評 ICT活用とともに人体模型を用いて、消化管の長さを体感できる“ひも”を人体模型から引き出す演出等、子どもたちの興味・関心が増すように工夫改善した授業シーンを導入し、人体の不思議を印象づけた。</p> <p>協議会 参観した中学校理科部の教員と一緒に事後改善を協議し深化。</p> <p>6月④ 研究授業“成果と課題”まとめと10月研究授業指導案検討</p> <p>8月 夏季実技研修（緊急事態宣言中にて延期）</p> <p>10月① 研究授業 指導案 検討</p> <p>10月② 小中合同研究会 中学校研究授業参観 単元未定</p> <p>10月③ 小学校研究授業（6年 理科） 福生第六小学校 主任教諭 高野 圭</p> <p>2月 福生市教育研究報告会</p>		

